

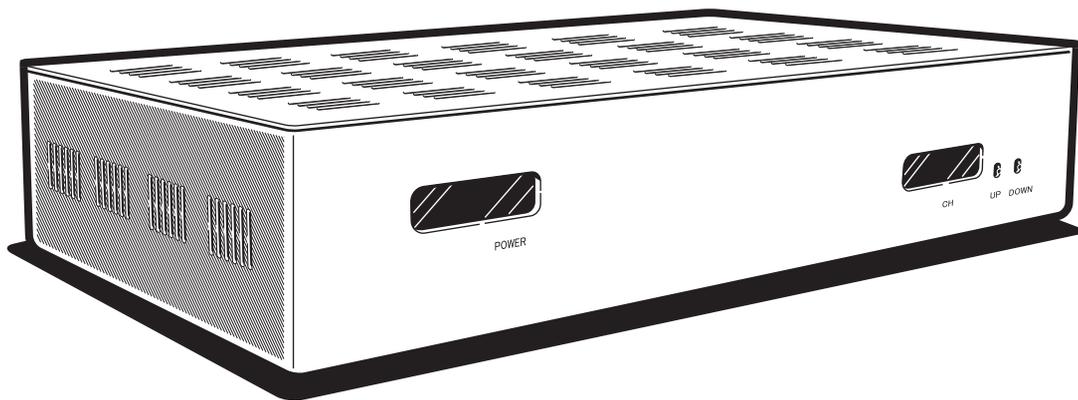
既存の浴室テレビを地デジ対応に。

地デジ切替キット

施工説明書

KDT-G/GH

KDT-BC/BCH



このたびは、地デジ切替キット
KDT-G/GH/BC/BCHをご購入いただき、
誠にありがとうございます。

⚠ 注意

- この冊子の内容を十分理解し、安全に取付け、配線作業を行っていただくようお願いします。
- この施工説明書をしっかりお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本書に従わず施工、取付け、配線を行った場合、当社の保証範囲外となりますので、あらかじめご了承ください。

目次

安全上の注意	2
装置概略	4
施工作業の前に	5
施工手順	6
お客様への引き渡し	15
仕様	16

安全上のご注意



この施工説明書には、ご使用になる人、施工作業者、その他の人への危害、損害を未然に防ぐために必ずお守りいただかなければならない重要な内容が記載されています。
内容を十分理解し、安全に設置、配線作業をしていただくようお願い申し上げます。

- この冊子で使用される注記マークについて
この施工説明書では、以下の注記マークを使用しています。



誤った施工をすると「人が死亡または重症を負う可能性が想定される」場合。



誤った施工をすると「損傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される」場合。



特に注意していただくべき内容。



- ・配線工事は関連する法令規定に従い、必ず「有資格者」が行ってください。接続や設定が不完全な場合は、火災や漏電の恐れがあります。
- ・一次電源側には必ず漏電遮断器を設置してください。
- ・AC100V 以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
- ・AC コードを傷つけたり、加工したり、加熱したりしないでください。
また曲げたり、ねじったり、引っ張ったりといった AC コードを傷めつけることはしないでください。また、重いものをコードの上に乗せたり、熱発生器具に近づけたりしないでください。AC コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- ・付属の AC コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
- ・施工前には、必ず作業場所の安全を確保してください。
- ・本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。
また本体の内部には触れないでください。火災や感電の原因となります。
- ・施工上いかなる理由があっても、製品を分解したり改造したりしないでください。
誤作動、故障の原因となり保証対象外となります。



- ・本製品は精密機器です。慎重にお取扱ってください。

- 本製品の使用可能温度範囲は 0℃～+40℃ です。
0℃ 以下または +40℃ 以上の温度になる場所での使用はできません。適正温度外での使用による故障は保証対象外となります。
- 本製品は火気の近くで使用しないでください。
熱により本体の変形、故障、あるいは配線がショートすることがあります。
- 本機は海外では使用しないでください。使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用になれません。

留意

- 梱包開封時に、供給された部材の確認を行ってください。
万一、商品の欠品、損傷などがございましたら、取扱店までご連絡ください。

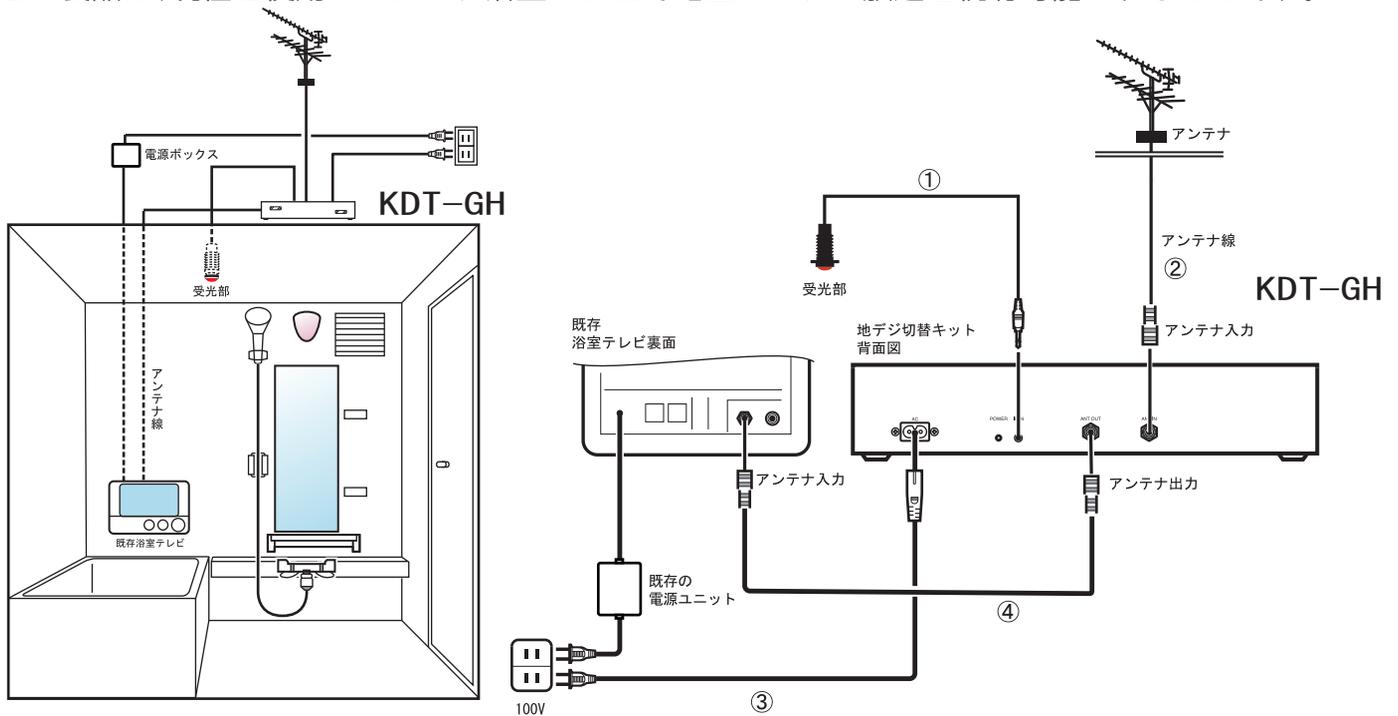
● 施工前の建築側への依頼事項

施工に先立って、予め次の事項を建築サイド（工務店、電気工事業者）へ依頼しておいてください。

- 一次電源側には必ず漏電遮断器を設置してください。（漏電遮断器は材工共、別途手配願います）
- 一次側電源用のケーブルは電気工事業者側にてご手配ください。
- 一次電源には AC100V 50/60Hz を供給してください。

装置概略

この製品は、現在ご使用のアナログ浴室テレビで地上デジタル放送を視聴可能にするものです。

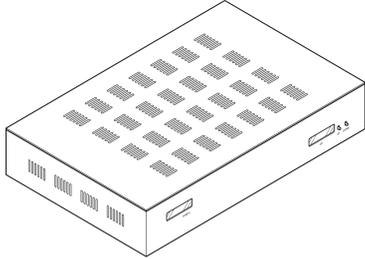
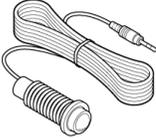
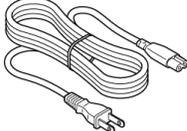
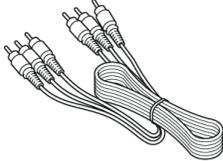


地デジ切替キットは用途に応じて以下の4種類があります。お手元の機種をご確認ください。

型式	正面図 / 背面図	対応受信放送	変調器 (RCA をアンテナ線に 変調)
KDT-G		1波 (地デジ)	×
KDT-GH		1波 (地デジ)	○
KDT-BC		3波 (地デジ、BS、CS)	×
KDT-BCH		3波 (地デジ、BS、CS)	○

施工作業の前に

● 部材の確認 (梱包内容を確認してください)

<p>1. 切替キット本体</p> <p>KDT-G/GH : 325 (W) x 59 (H) x 250 (D) mm KDT-BC/BCH : 399.5 (W) x 76.5 (H) x 250 (D) mm</p> 	<p>2. 受光部</p> <p>25 (W) x 55 (H) mm コード 長さ 3,000 mm</p> 	<p>3. 電源コード</p> <p>コード 長さ 2,000 mm</p> 
<p>4. 専用リモコン (ボタン電池付)</p> <p>65 (W) x 151 (H) x 15 (D) mm</p> 	<p>5. リモコンホルダー</p> <p>70 (W) x 121 (H) x 22 (D) mm</p> 	<p>6. RCAコード</p> <p>長さ 1,570 mm</p>  <p>(KDT-G/BCのみ)</p>
<p>7. ナット</p> <p>15.5 (ID) mm x 26 (OD) mm</p> 	<p>8. パッキン</p> <p>18.5 (ID) mm x 23.5 (OD) mm</p> 	

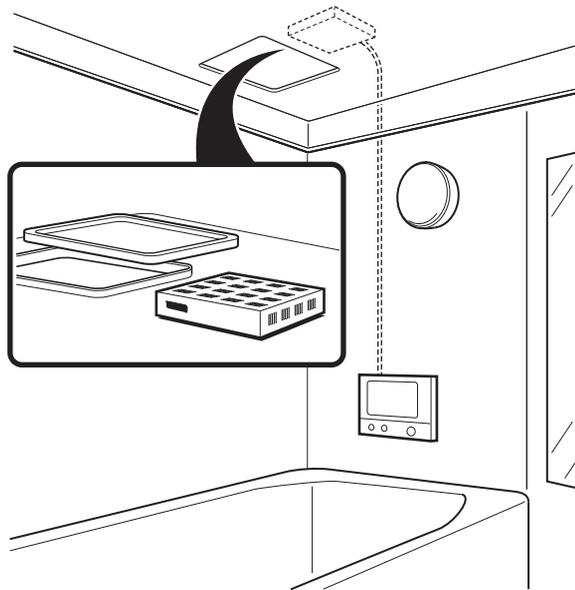
施工手順

●施工手順

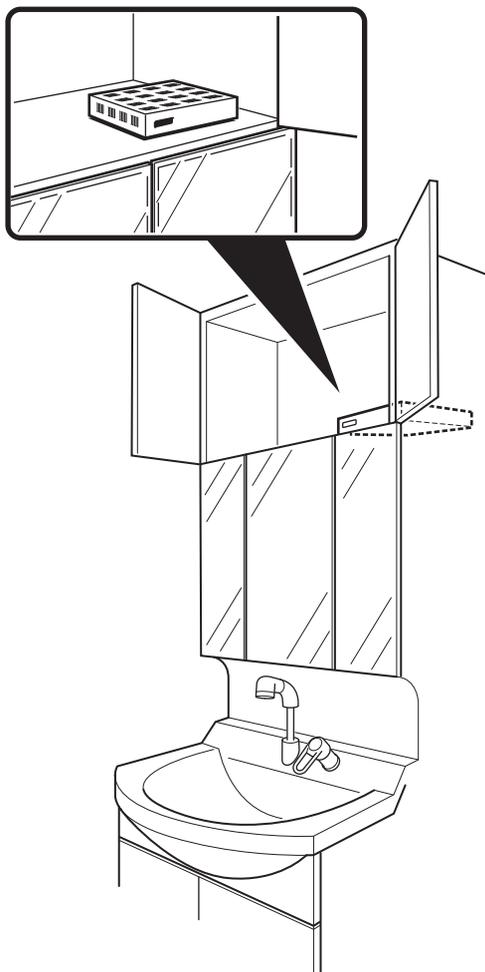
以下の手順で施工をお願いします。

1. 本体の設置場所を決める

- 1) KDT-G/GH の場合
点検口内に設置してください。

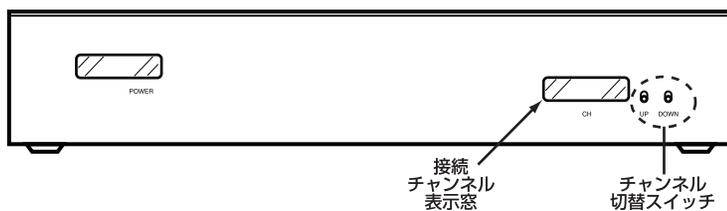


- 2) KDT-BC/BCHの場合
洗面所の袋棚などに設置してください。



注意

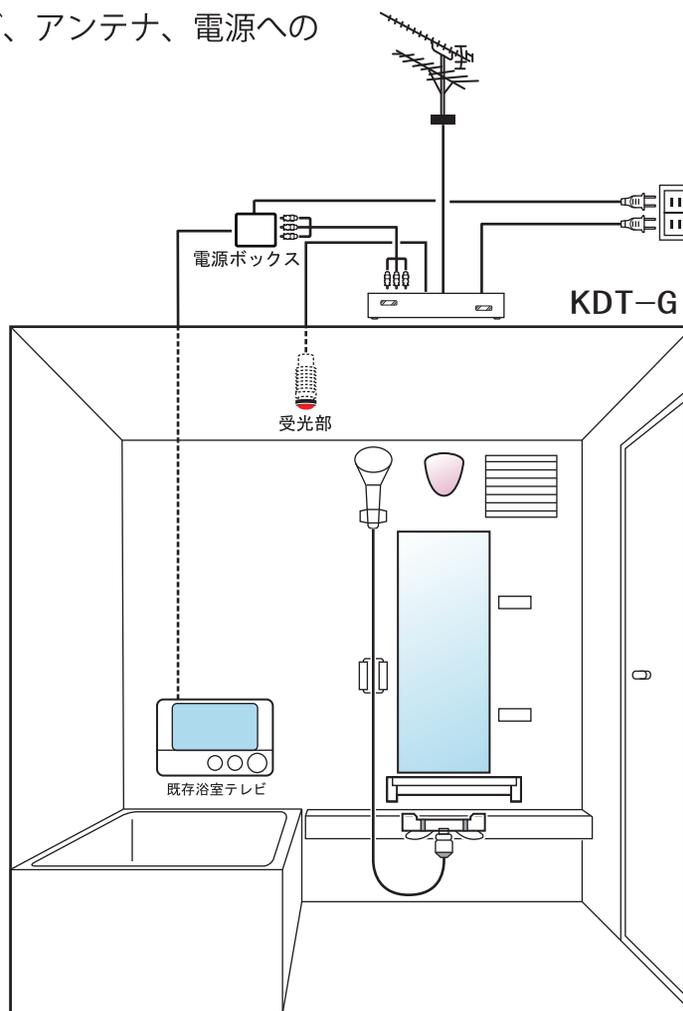
KDT-BC/BCHは、チューナーが熱を持ちやすく、危険を伴うため、点検口内には設置しないで下さい。



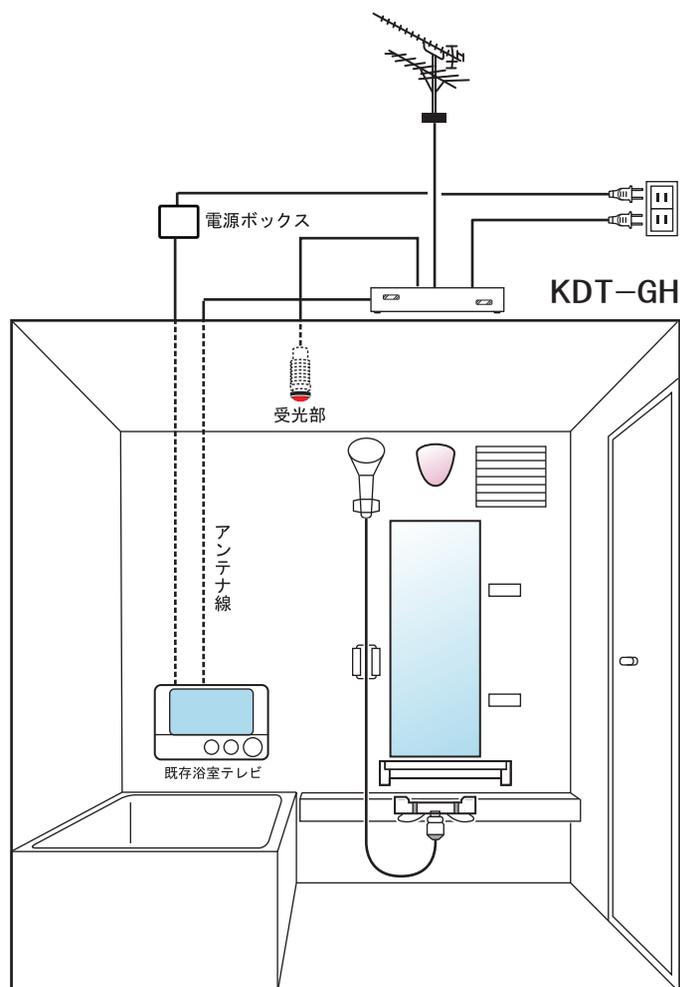
2. 配線レイアウトを決める
本体の設置が終わると、お風呂テレビ、アンテナ、電源への
配線レイアウトを考えます。

配置例

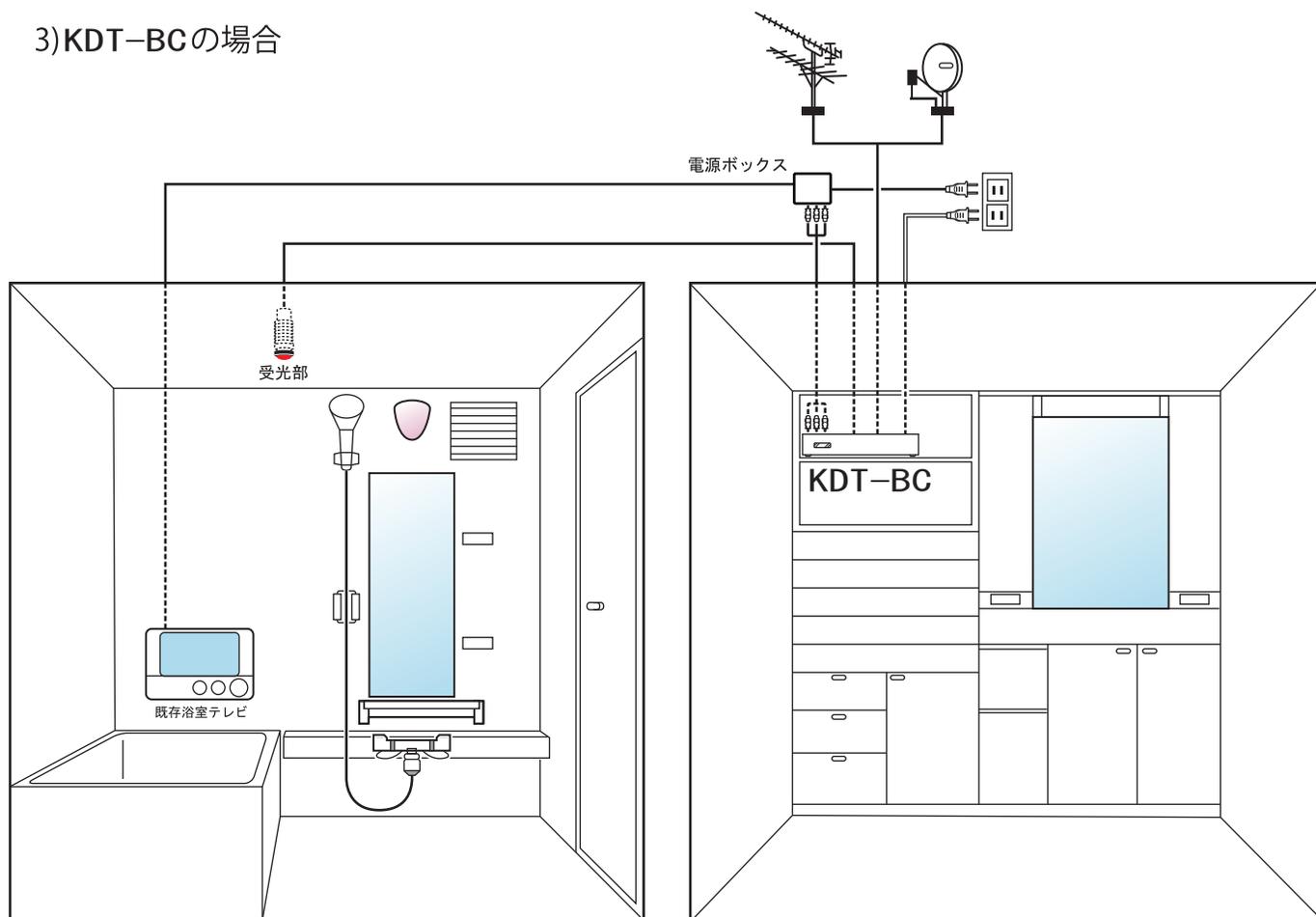
1) KDT-G の場合



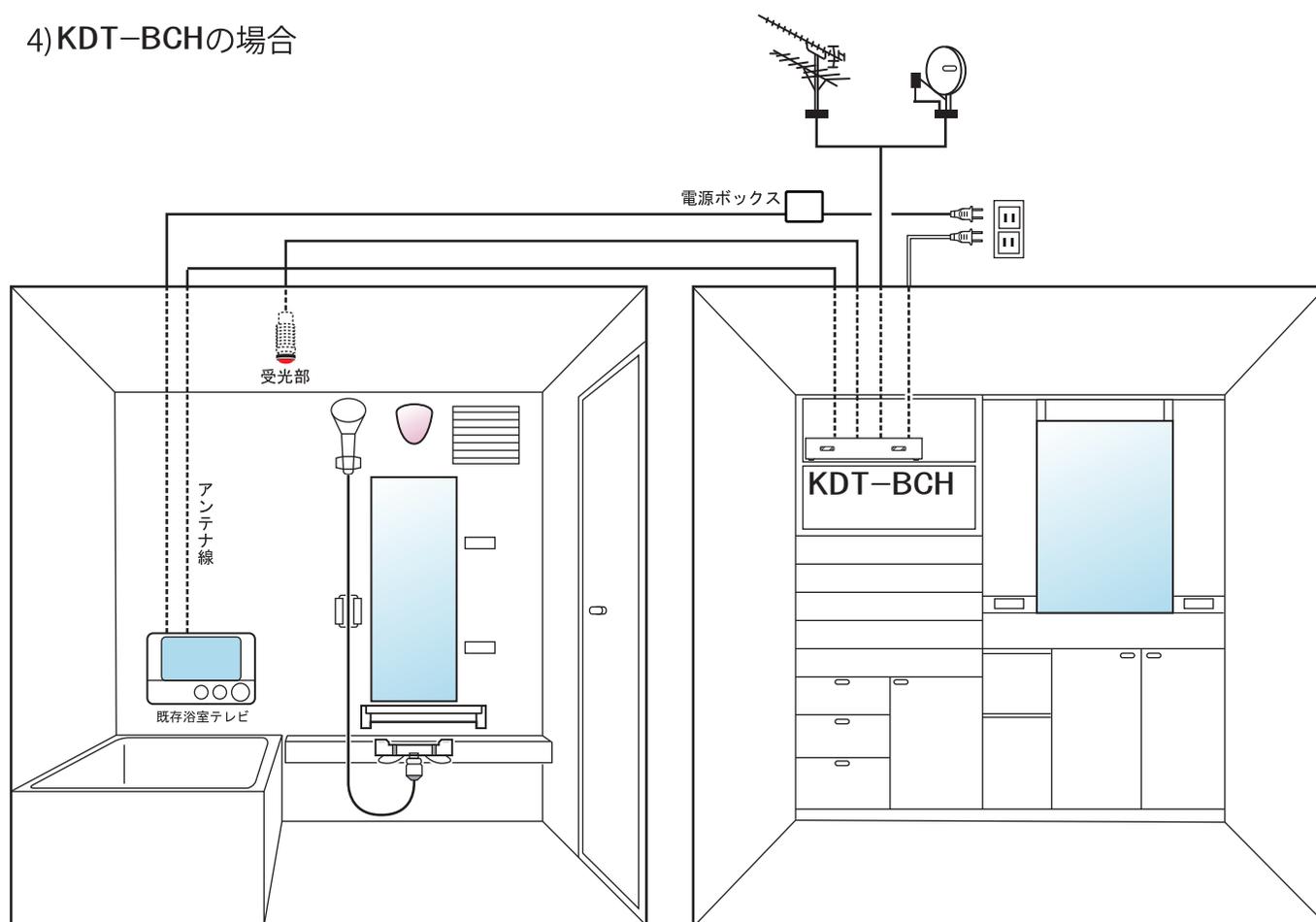
2) KDT-GH の場合



3) KDT-BCの場合



4) KDT-BCHの場合

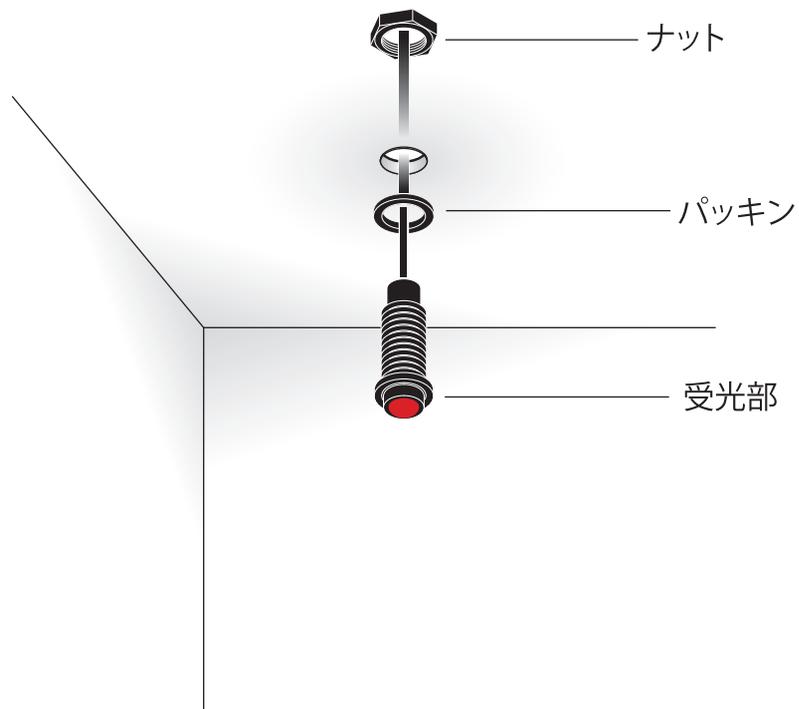


3. 受光部の取付け。

受光部を浴室の天井に取り付けます。

①受光部の開口は、直径 18mm で開口してください。

②受光部にパッキンを通し、コードを開口部に通し、天井側からナットで留めます。



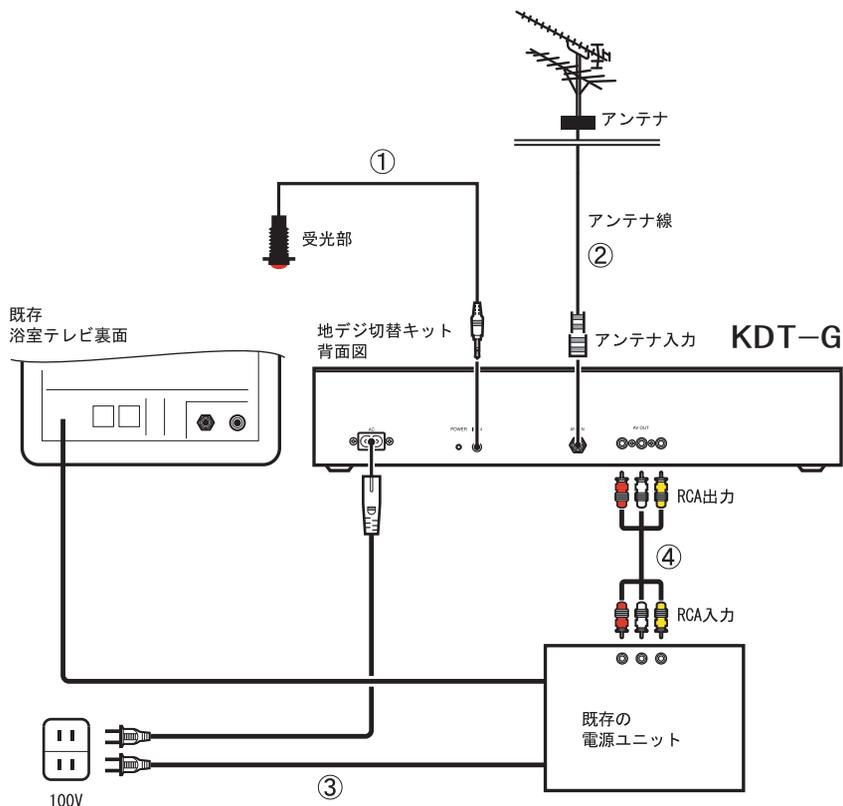
4. 配線作業

配線図をもとに切替キット本体と既存の浴室テレビを配線してください。

配線例

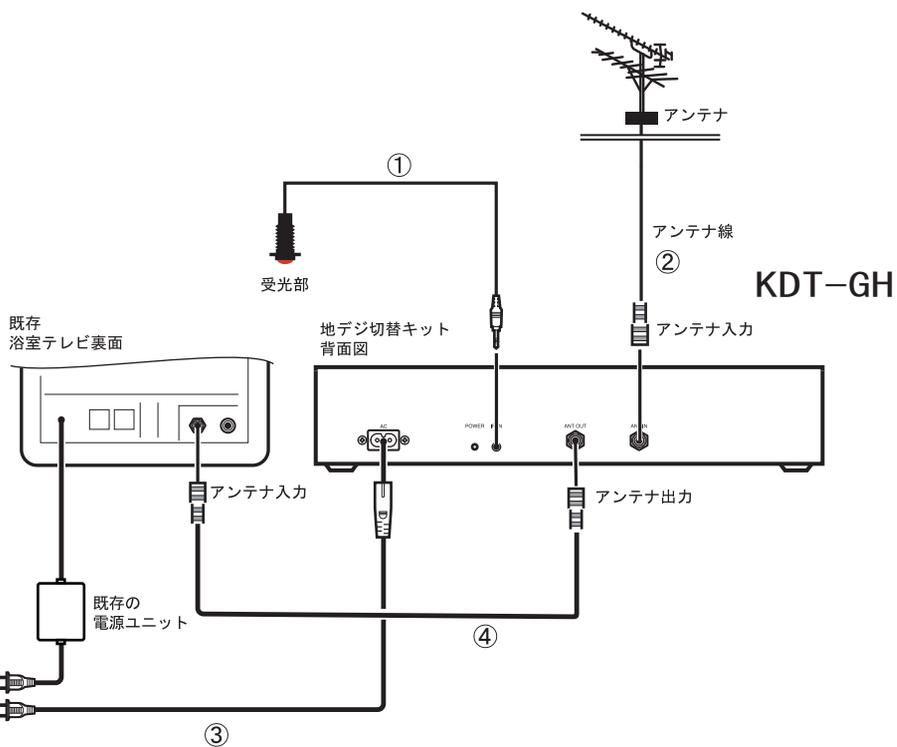
1) KDT-G の場合

- ①受光部からの線を切替キット本体に差し込みます。
- ②アンテナからの線を切替キット本体に差し込みます。
- ③付属の電源コードで切替キット本体をコンセントに接続します。
- ④RCAコードで切替キット本体と既存の電源ユニットを接続します。



2) KDT-GH の場合

- ①受光部からの線を切替キット本体に差し込みます。
- ②アンテナからの線を切替キット本体に差し込みます。
- ③付属の電源コードで切替キット本体をコンセントに接続します。
- ④アンテナ線で切替キット本体と既存の浴室テレビを接続します。

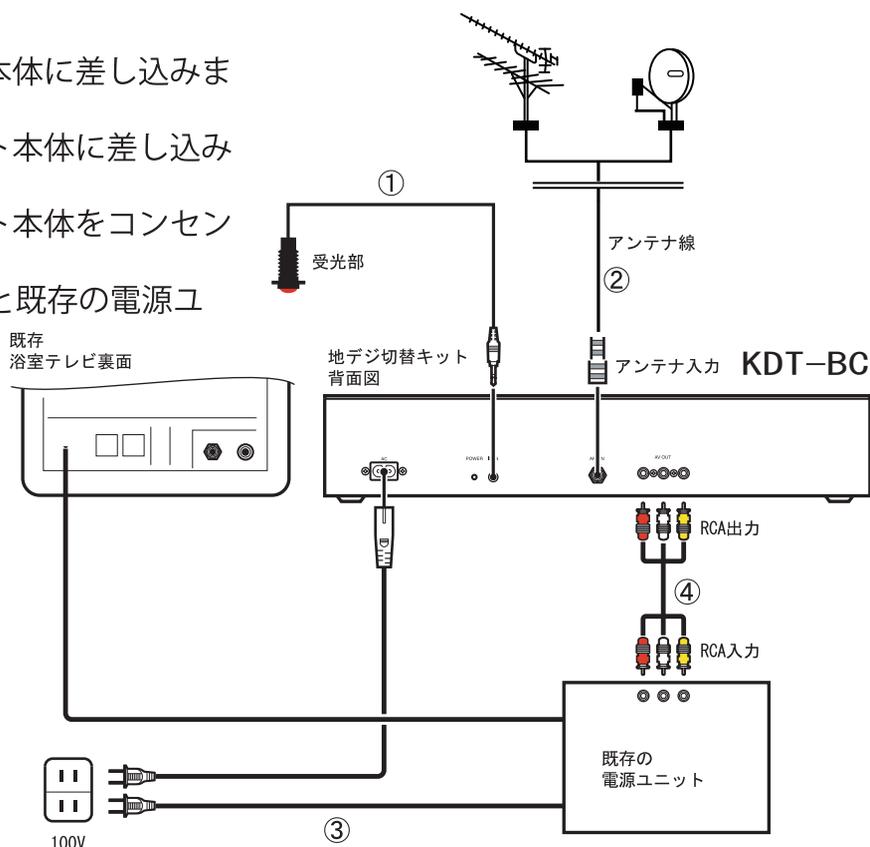


留意

ここで使用するアンテナ線とアンテナ端子 FP5 は施工業者側でご用意ください。

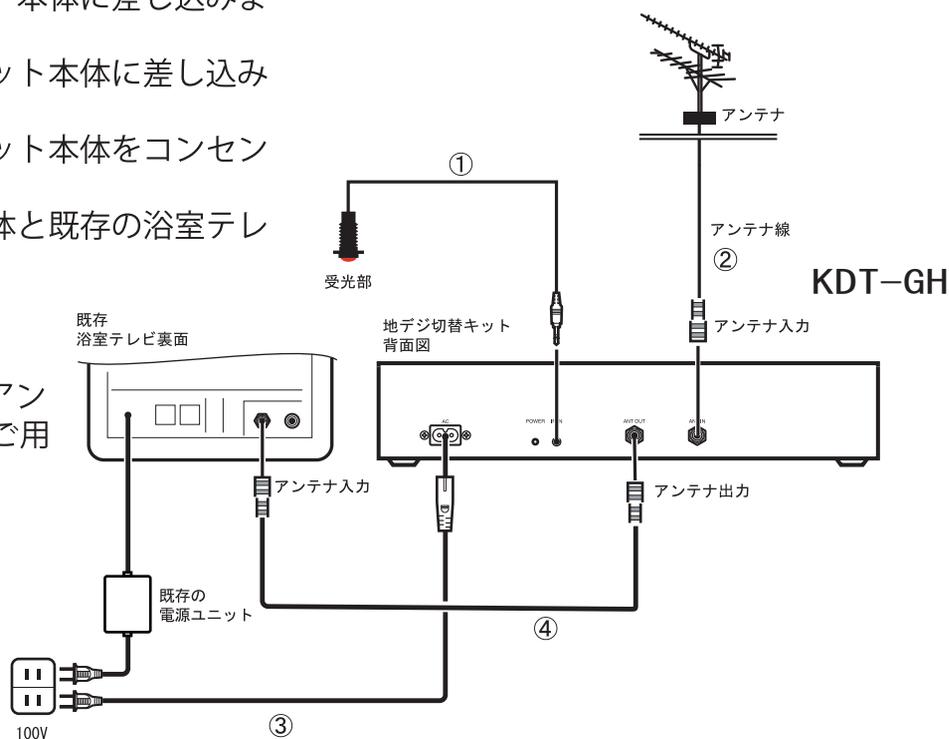
3) KDT-BCの場合

- ①受光部からの線を切替キット本体に差し込みます。
- ②アンテナからの線を切替キット本体に差し込みます。
- ③付属の電源コードで切替キット本体をコンセントに接続します。
- ④RCAコードで切替キット本体と既存の電源ユニットを接続します。



4) KDT-BCHの場合

- ①受光部からの線を切替キット本体に差し込みます。
- ②アンテナからの線を切替キット本体に差し込みます。
- ③付属の電源コードで切替キット本体をコンセントに接続します。
- ④アンテナ線で切替キット本体と既存の浴室テレビを接続します。



留意

ここで使用するアンテナ線とアンテナ端子 FP5 は施工業者側でご用意ください。

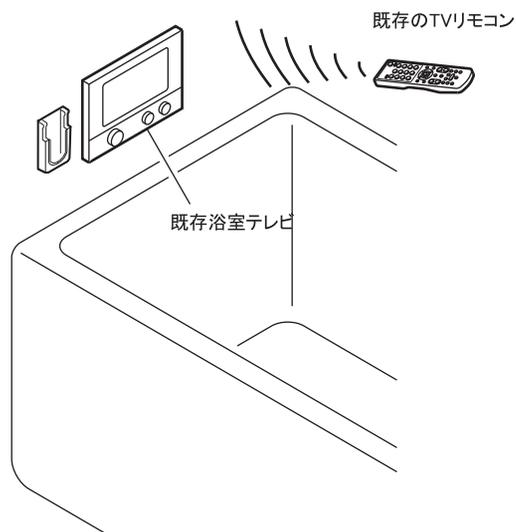
仮配置の後、接続が距離的に可能かどうか確認します。

ケーブルを実際に配線したあとは、それぞれダクト、カバーなど必要な保護を施します。

5. 通電検査をする

以下の手順で通電検査を行ってください。

- ①既存のアナログ浴室テレビ本体、またはリモコンの電源スイッチを押すと浴室テレビのオン・オフができるか。
- ②既存のアナログ浴室テレビの本体、またはリモコンの音量アップ・ダウンボタンで音量が変わるか。

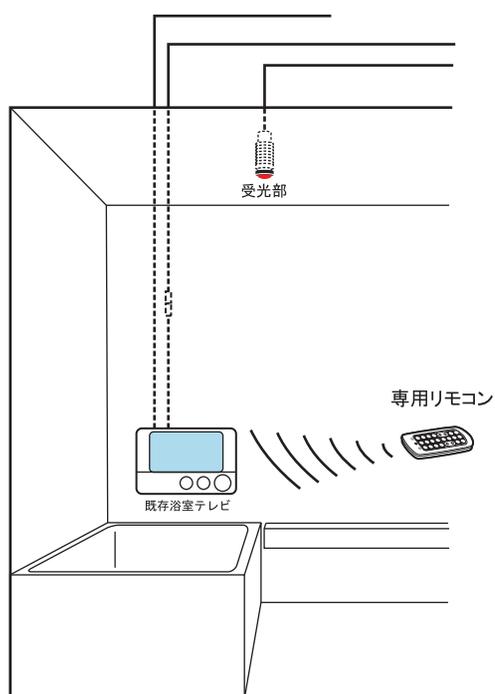


- ③付属の専用リモコンでリモコン受光部に向けメニューボタンを長押しするとメニュー画面が表示されるか。
- ④既存の浴室テレビを外部入力モードに切り替えてください。
浴室テレビの種類によって、切替え方法が異なりますので、既存の浴室テレビの取扱説明書をご覧ください。

KDT-GH / KDT-BCHでは、地デジ切替キットの接続チャンネル表示窓（P6 参照）を見ながら、チャンネルを「13」に合わせます。

それから、モニターのチャンネルを「13」に合わせます。（オートプリセット機能がついている機種は、オートプリセットを実施します。）

（万一「13ch」で映像が映らない場合、他のチャンネルでもセットアップ可能です。）



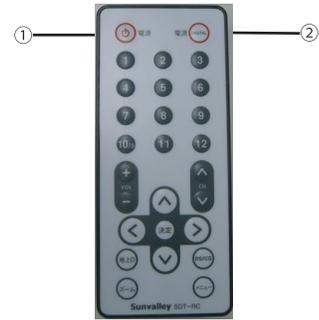
6. チャンネルのセットアップ

全ての作業が終了したら既存の浴室テレビ、地デジ切替キット共に AC アダプターの電源プラグを差込み、チャンネルのセットアップを行ってください。

チャンネルのセットアップは付属のチューナー用リモコンを使用します。

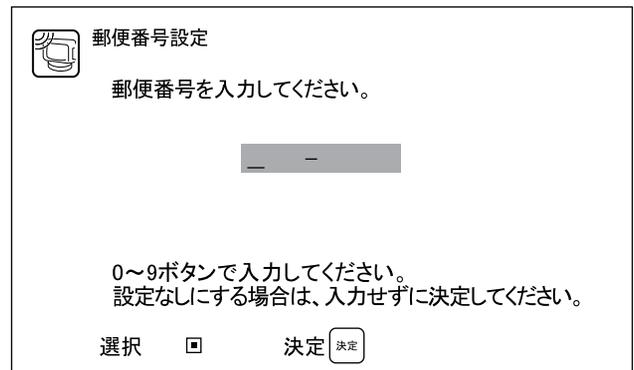
①テレビの電源をオンします。

②チューナーの電源をオンします。



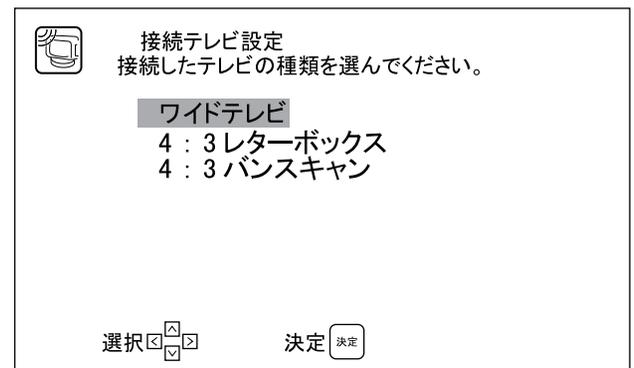
③郵便番号を入力します。(BC/BCHのみ)

お住まいの地域の郵便番号をリモコンの数字ボタンで入力し、(設定)ボタンを押します。



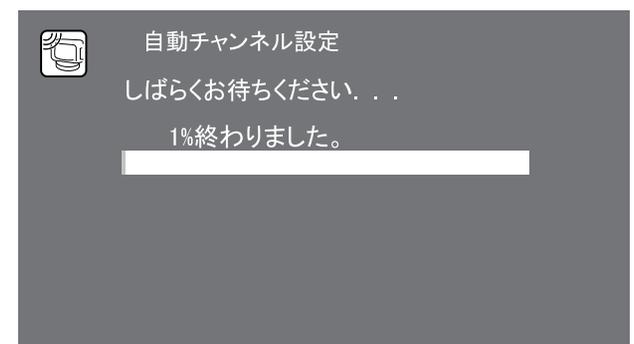
④接続テレビ設定

右のような画面が表れましたら、既存の浴室TVに応じたテレビ設定を選択し、(設定)ボタンを押します。



⑤自動チャンネル設定

受信チャンネルの自動設定プログラムがスタートし、画面に現在処理中の状態がグラフ表示されます。自動チャンネル設定が終了すると、自動的にデジタル放送受信状態になり、画面には数字ボタン「1」に割り当てられたチャンネルが表示されます。



お客様への引き渡し

取付けと動作確認が完了すると、お客様に引き渡す際に以下を履行してください。

1) 清掃上の注意事項の説明

- ・お手入れは必ず電源スイッチを切って外部電源を抜いてから、行ってください。感電の原因となります。
- ・ベンジン、シンナーなどで拭き取ると、変質や、変色することがありますので使用しないでください。
- ・殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質や、変色する原因となります。
- ・汚れはやわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどい時は、中性洗剤を薄めた水を布に浸して絞った布で拭きとり、その後乾いた布でから拭きしてください。

2) 付属のリモコンの引き渡しと操作説明

- 既存の浴室テレビリモコン（設置する必要はありませんので、お客様にお渡しください。）
- 専用リモコン



注意

モニターの電源・音量操作は既存の浴室テレビ本体での操作になることを必ずお客様にお伝え下さい

3) 保証書に必要な事項を記入の上、手渡し。

- 販売店名、住所、連絡先
- 引き渡し日付

4) トラブル発生時の連絡先のご案内

- 販売店連絡先
- 当社お問い合わせセンターの連絡先

留意

故障対策については別紙「取扱説明書」の P20～21 の「故障とお考えになる前」をご覧ください。

仕様

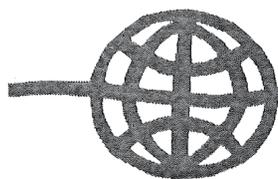
本体

型番	KDT-G	KDT-GH	KDT-BC	KDT-BCH
品名	地デジ切替キット			
寸法	幅 325x 高さ 59x 奥行 250mm		幅 314x 高さ 44.5x 奥行 232mm	
本体重量	2650g	2800g	3350g	3500g
受信方式	NTSC			
電源供給	AC100V			
使用温度範囲	0～+40℃			
消費電力	8.1W	10.0W	10.1W	12.0W
付属品	地デジ切替キット取扱説明書、施工説明書、受光部、専用リモコン、リモコンホルダー、電源コード、ナット、パッキン、RCAコード (SDT-100, SDT-300 のみ)			

リモコン

型番	SDT-RC	
適用	KDT-G/GH	KDT-BC/BCH
外形寸法	幅 64x 高さ 150x 奥行 14mm	
質量	63g	
使用電源	コイン型リチウム電池 (CR2032)	
転送周波数	37.92KH z ± 170Hz	
操作距離 (直線)	4m	
操作範囲 (角度)	30°	

サンバリーコンシューマはCO2の6%削減を目指す
「チーム・マイナス6%」に参加しています。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6% www.team-6.jp

株式会社サンバリーコンシューマ・マーケティング

542-0081 大阪府中央区南船場4-10-23-2F

電話 06-4963-8050 FAX 06-4963-8090